

JTTRI-AIRO 物流シンポジウム
『フィリピンにおける効率的な物流の構築を目指して
～海 ASEAN における物流の改善～（パート 1）』

宿利会長開会挨拶

皆様、おはようございます。運輸総合研究所（JTTRI）会長の宿利正史です。

本日は、フィリピン共和国運輸省との共催による物流シンポジウム『フィリピンにおける効率的な物流の構築を目指して～海 ASEAN における物流の改善～（パート 1）』を開催できますことを大変嬉しく思います。

また、このシンポジウムの開催にご尽力いただいた関係者の皆様、お忙しい中会場まで足を運んでいただいた皆様、オンラインでご視聴の皆様に、厚く御礼申し上げます。

そして、

本日ご公務のため、ご出席に代えてビデオメッセージをお届けいただきました

・フィリピン共和国運輸大臣 バウティスタ様
ご多忙の中ご出席を賜りました

・駐フィリピン日本国特命全権大使 遠藤様
ご後援を賜りました

・フィリピン日本商工会議所会頭 石川様

基調講演をしていただきます

- ・ フィリピン共和国運輸省海事担当次官 サルミエント様
- ・ 日本国国土交通省国土交通審議官 寺田様

に心から感謝申し上げます。

また、パネルディスカッションにご参加いただきます

- ・ 東京大学大学院 准教授 柴崎様
- ・ フィリピン共和国貿易産業省
サプライチェーン・物流担当次官 パチェコ様
- ・ フィリピン・コールドチェーン協会
テクニカルコンサルタント ディゾン様
- ・ NX ロジスティックス・フィリピン社長 中山様
- ・ K ライン・ロジスティックス・フィリピン 副社長
アイルランダ様

に厚く御礼申し上げます。

さて、7,000 以上の大小の島々からなるフィリピンは、同じ島国である日本にとって、東南アジア・中東・欧州諸国を結ぶ海上輸送の要衝に位置し、貿易や投資等の経済面においてはもちろん、観光などの人的交流の面においても大変密接な関係にあります。このことは、現在日本の支援により進められている複数の大規模かつ重要な鉄道プロジェクトを見れば明らかであります。このことは、現在、日本の支援により進められている複数の大規模かつ重要な鉄道プロジェクトを見れば、明らかであります。

す。

さらに、基本的価値や戦略的利益を共有し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現という観点からも、極めて重要な「戦略的パートナー」であります。

一方、近年の COVID-19 によるパンデミックやロシアによるウクライナへの軍事侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争の激化と紅海におけるフーシ派の船舶攻撃、渇水によるパナマ運河の通航制限などは、全世界の経済・社会やサプライチェーンに甚大な影響を及ぼしています。

また、日本とフィリピンとの間に位置する台湾海峡の平和と安定は地域・国際社会にとって極めて重要であり、東シナ海・南シナ海での主権を侵害する活動や挑発的な軍事活動、威圧的な活動が継続・強化されていることに日本とフィリピン両国は深刻な懸念を共有しています。

日本とフィリピンとの関係は、こうしたグローバルな視点で捉えていく必要があり、効率的で、かつ、強靱で安定的な物流の実現は、両国の経済・社会の発展と経済安全保障の観点から喫緊の課題であると、私は考えております。

また、物流においても、「脱炭素」や「持続可能性」といった世界共通の課題に対処していかなければなりません。

本日のシンポジウムでは、基調講演において、フィリピンと日

本それぞれの物流の課題と政府の取組についてご紹介いただきます。

その後、JTTRI のアセアン・インド地域事務所 (AIRO) からは、研究機関としての立場から、

- ① フィリピンの物流事情を概括した上で、国際物流における主要なインフラである港湾の機能強化について、課題や事例を分析するとともに、
- ② JTTRI-AIRO とタイ運輸省において有識者による検討会を設置し2年にわたりハード・ソフト両面の物流改善策を検討した成果や JTTRI が ASEAN におけるコールドチェーンの普及啓発を目的として行った取組から、フィリピンにとっても有益と考えられるものを紹介します。

その後のパネルディスカッションにおいては、政策当局者、有識者や物流企業の参画を得て、フィリピンの物流改善に向けた課題や政策、JTTRI-AIRO の研究報告などについて、議論を深めていただきたいと考えております。

本日のシンポジウムが、フィリピンと日本にとって、さらには、ASEAN と日本にとって、効率的で、かつ、強靱で安定的な物流の構築に向けた一助となることを心から願っております。

そして今後、本日のシンポジウムの議論を踏まえ、両国におい

て、実務レベルで継続的に知見と情報の共有を行い、議論と検討を深化していく枠組みを設けはどうかと考えております。

最後になりますが、JTTRI は、COVID-19 のパンデミック直前の 2020 年 2 月に、マニラにおいて、フィリピン運輸省と共催で、当時のツガデ運輸大臣や本日ご登壇いただくバターン次官などのご出席を得て、「フィリピンにおける鉄道整備と沿線開発」に関する国際セミナーを開催しました。昨日、ツガデ元運輸大臣とお会いしましたが、大変お元気で、そのご著書を本日ご出席の皆様にお渡ししたいとのお話があり、ご厚意に甘えて、皆様のお席にお届けしてあります。

今回は、その時以来のシンポジウムではありますが、JTTRI 及び JTTRI-AIRO は、フィリピンの皆様との、地に足のついた、継続的かつ重層的な連携と協働を通じて、フィリピンと日本の運輸・観光分野の発展を目指し、両国の絆がより一層深まるよう努めてまいります。今後ともフィリピンと日本両国の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私からのご挨拶といたします。

本日は、多くの皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございます。